
株式会社メガチップス

2025年3月期第1四半期 決算説明

<https://www.megachips.co.jp/>

目 次

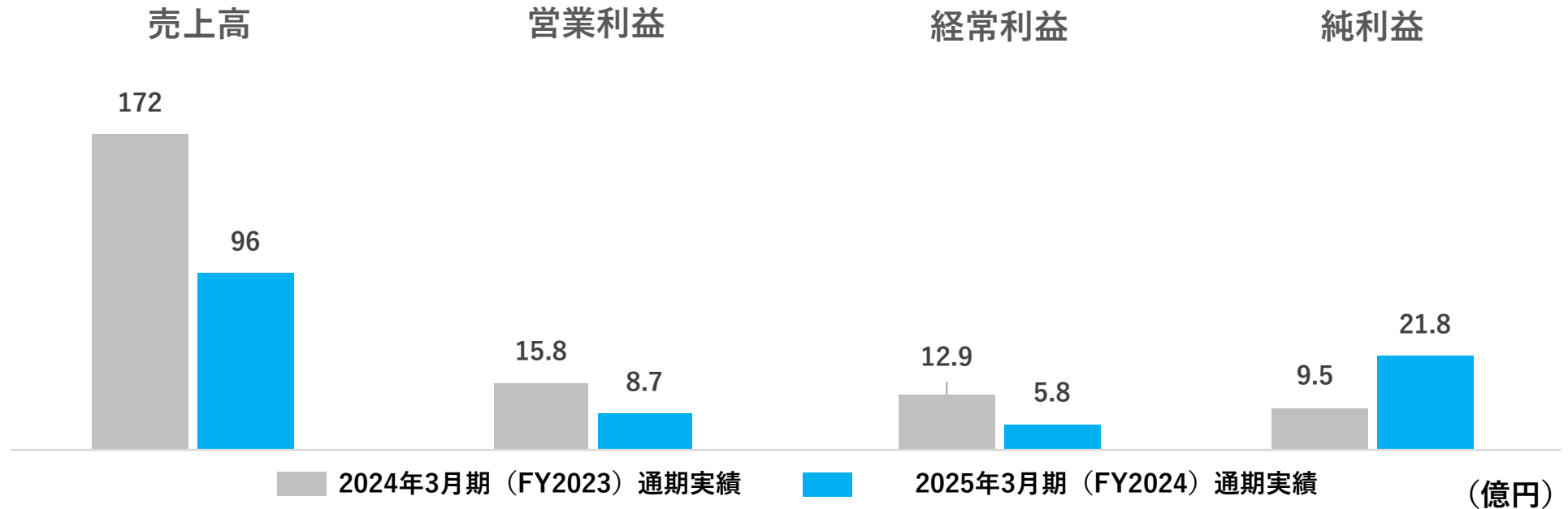
1. 2025年3月期第1四半期 業績報告 …… 3
2. 2025年3月期 業績予想 …………… 9
3. 2025年3月期 中長期経営方針 …… 12

2025年3月期第1四半期 業績報告

2025年3月期第1四半期 連結業績 (P/L) サマリー

(単位：百万円)		2024/3期 (FY2023) 1Q実績	2025/3期 (FY2024) 1Q実績	前年同期 増減率	2025/3期 (FY2024) 通期予想数値 (2024/5/10公表)
連結	売上高	17,290	9,660	▲44.1%	52,000
	売上原価	14,191	7,261	▲48.8%	
	販売費及び一般管理費	1,513	1,523	+0.7%	
	営業利益	1,586	874	▲44.9%	4,000
	経常利益	1,297	584	▲55.0%	4,000
	親会社株主に帰属する 当期純利益	952	2,187	+129.6%	5,000
	1株当たり利益 (円)	50.21	121.85	+142.7%	275.36
営業利益率		9.2%	9.1%		
純利益率		5.5%	22.6%		
為替レート：米ドル		144.99円	161.07円		

2025年3月期第1四半期 連結業績（P/L）詳細



売上高 前年同期比
▲76億円 (▲44.1%)

- ・アミューズメント事業の需要が高水準で推移した前年同期から減少
- ・一方で、ASIC事業は顧客需要が堅調に推移

営業利益 前年同期比
▲7.1億円 (▲44.9%)

- ・売上減による売上総利益の減少
- ・売上総利益率が対前年同期比で6.9%上昇

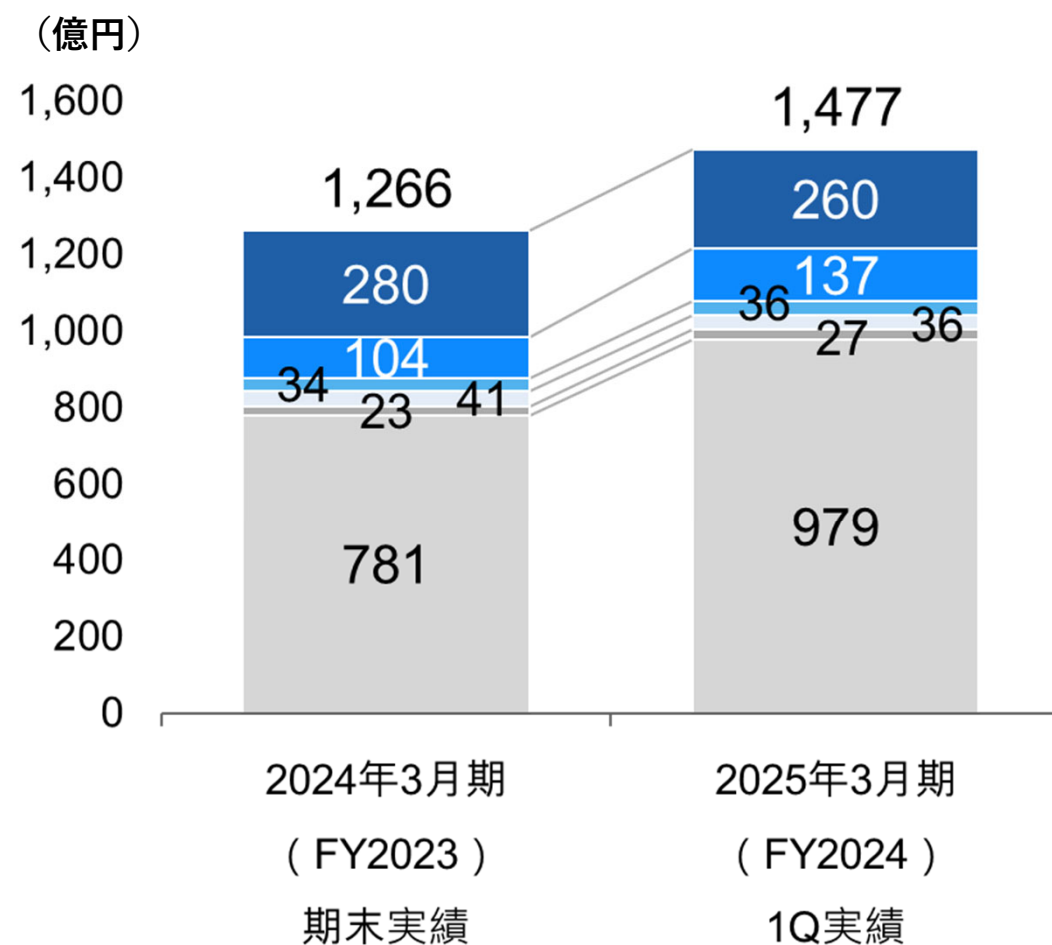
経常利益 前年同期比
▲7.1億円 (▲55.0%)

- ・営業利益の減：▲7.1億円
- ・為替差益の減：▲2.6億円
- ・為替差損の増：▲3.6億円
- ・SiTime持分法による投資損失の減：+5.9億円

純利益 前年同期比
+12.3億円 (+129.7%)

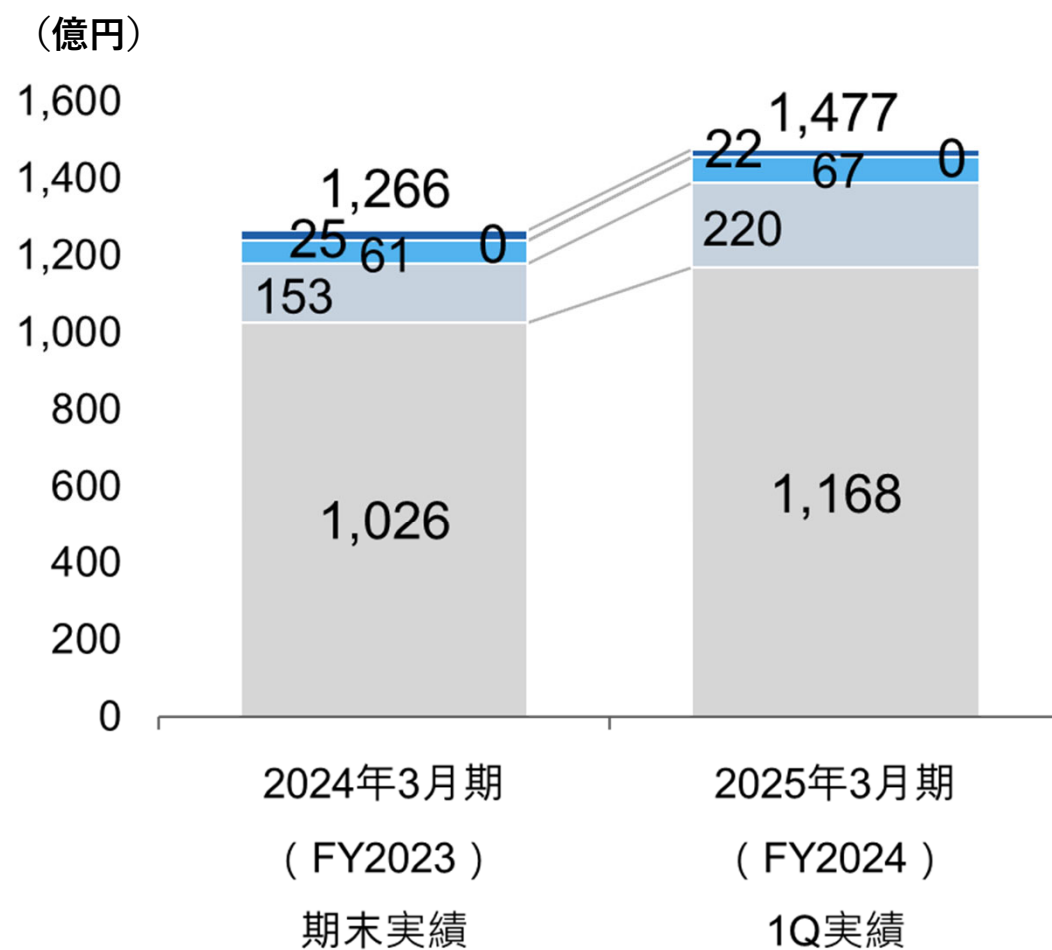
- ・経常利益の減：▲7.1億円
- ・SiTime投資有価証券売却益の増：+40.3億円
- ・投資有価証券の評価損の増：▲9.7億円
- ・法人税等の増：▲8.4億円

2025年3月期第1四半期 財政状態（資産）



(単位：億円)	増減 (FY23→FY24)	増減率 (増減÷FY23)
現金及び預金	▲19.9	▲7%
受取手形、売掛金及び契約資産	+32.7	+31%
たな卸資産	+1.7	+5%
その他の流動資産	▲4.6	▲11%
無形、有形固定資産	+3.9	+16%
投資その他の資産	+197.9	+25%

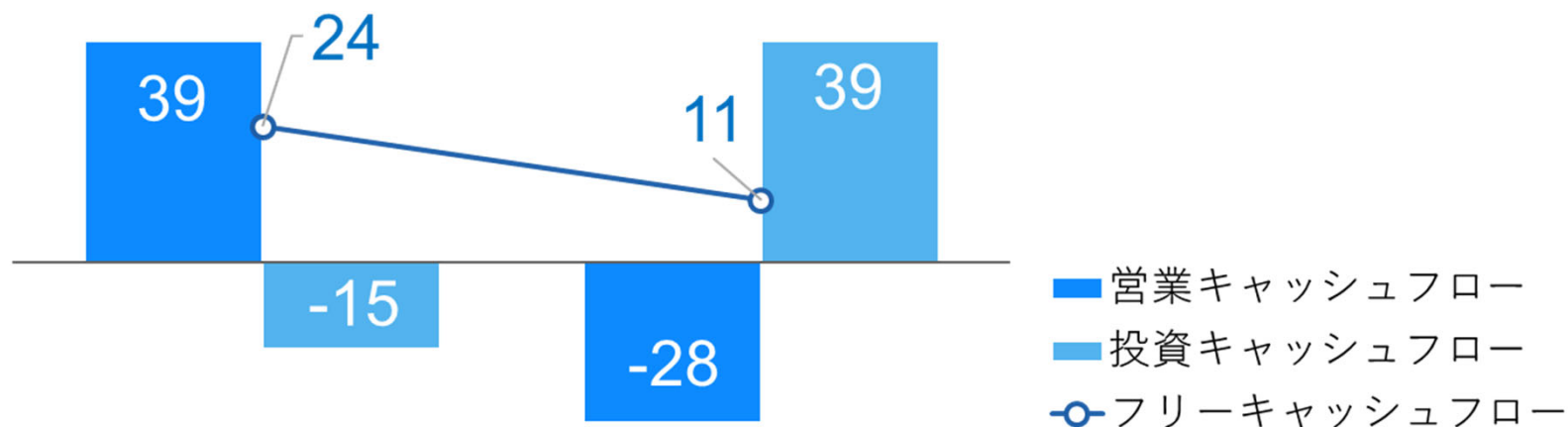
2025年3月期第1四半期 財政状態（負債・純資産）



(単位：億円)	増減 (FY23→FY24)	増減率 (増減÷FY23)
支払手形及び買掛金	▲2.8	▲11%
有利子負債	—	—
その他流動負債	+6.0	+10%
その他固定負債	+66.8	+44%
純資産	+141.7	+14%

2025年3月期第1四半期 キャッシュフロー

(単位：億円)



2024年3月期
(FY2023)
1Q実績

2025年3月期
(FY2024)
1Q実績

2025年3月期 業績予想

2025年3月期 業績予想

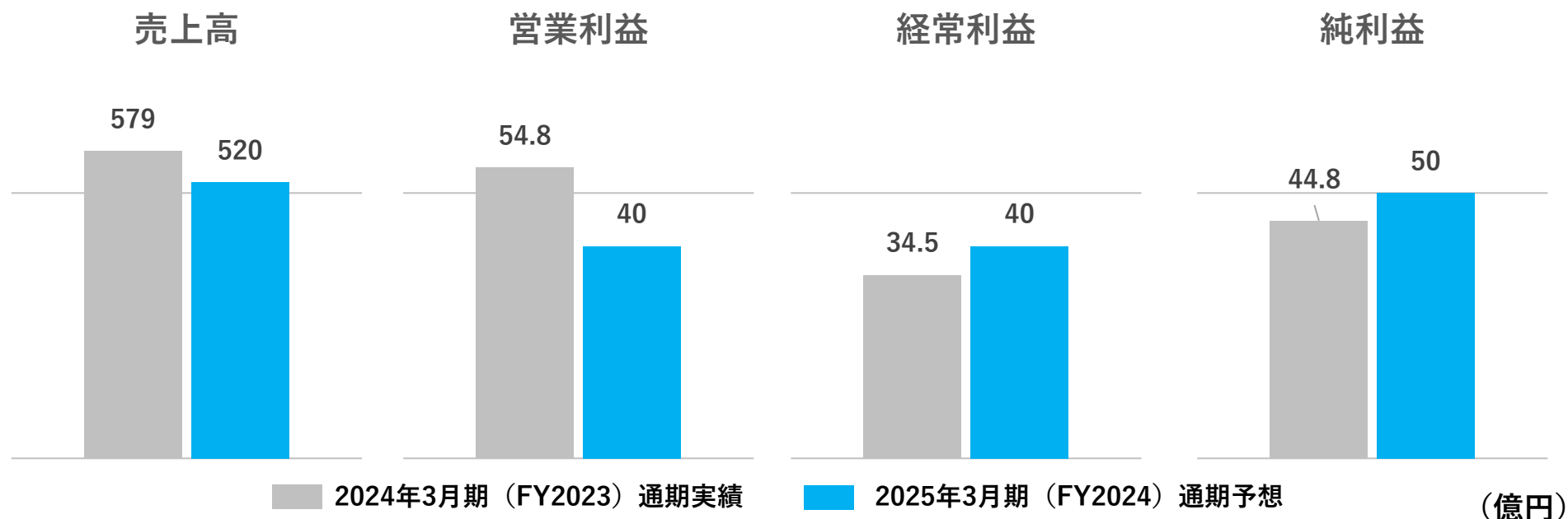
2024年度は売上減の予想ですが、2025年度以降の増収増益達成を目標として、中長期の成長投資の継続と安定した利益の確保の両立を目指す。

(単位：百万円)		2024/3期 (FY2023) 通期実績	2025/3期 (FY2024) 通期予想	2025/3期 (FY2024) 1Q実績	進捗率
連結	売上高	57,942	52,000	9,660	18.6%
	営業利益	5,483	4,000	874	21.9%
	経常利益	3,456	4,000	584	14.6%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	4,486	5,000	2,187	43.7%
	1株利益 (円)	242.30	275.36	121.85	44.3%
営業利益率		9.5%	7.7%	9.1%	
純利益率		7.7%	9.6%	22.6%	
為替レート：米ドル		151.41円	130.00円	161.07円	

※ 2024年3月期は、SiTime社株式の一部売却により特別利益として関係会社株式売却益が55.2億円発生。

※ 2025年3月期の通期予想には、SiTime社株式の一部売却による特別利益を約30億円見込んでおりましたが、2025年3月期1Qに売却を実施した結果、40億円の投資有価証券売却益が発生。

2025年3月期 業績予想 (P/L) 詳細



売上高 前年同期比
▲59億円 (▲10.3%)

- ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要は前期比減を見込む

営業利益 前年同期比
▲14.8億円 (▲27.1%)

- 主に、売上高減少による売上総利益の減少と、事業強化/新規事業育成のための費用投下の増を見込む

経常利益 前年同期比
+5.5億円 (+15.7%)

- SiTime社が持分法適用の対象外となったため、持分法による投資損益(営業外損益)の算定は不要となる(2024年3月期は、持分法による投資損失▲29億円を計上)

純利益 前年同期比
+5.2億円 (+11.4%)

- SiTime社株式の一部売却により、2025年3月期に特別利益として投資有価証券売却益を約30億円見込む

2025年3月期 中長期経営方針

中長期経営方針

中長期継続目標

ROE 8%以上

2029年3月期(FY2028)目標

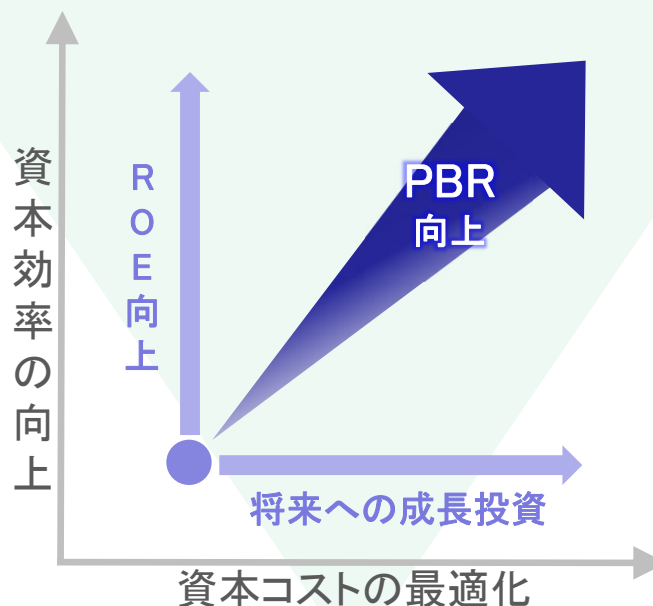
ASIC事業と通信事業等で
売上構成比50%以上

早期実現

PBR 1倍以上

資本効率の向上

- アミューズメント事業による安定した収益基盤
- ASIC事業の基盤強化による収益拡大
- 通信事業の早期立ち上げ
- 第4の柱となる事業育成



将来への成長投資

- 国内外大学との共同研究推進
- スタートアップ企業への投資や戦略的提携
- 新市場開拓や新製品開発
- ビジネス創出と事業化を結びつける

株主還元強化・投資家との対話を重視

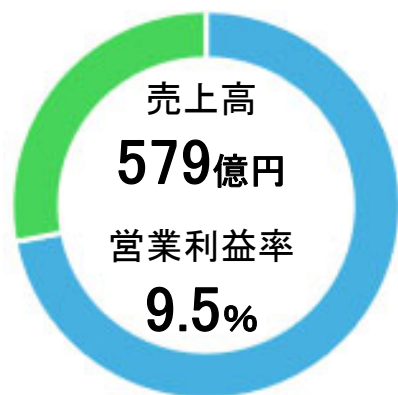
- 安定配当(増配基調とする)
- 継続的に自己株式取得

中長期経営方針

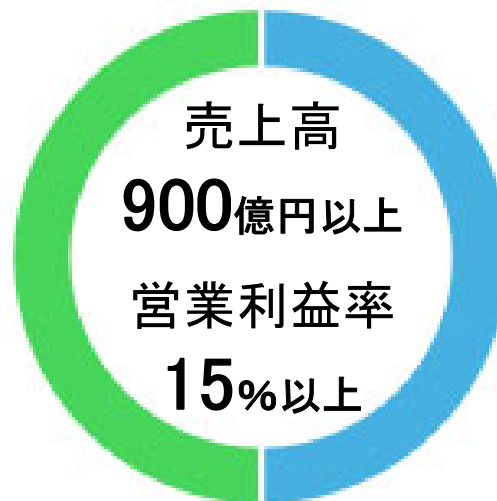
主力既存事業であるアミューズメント事業とASIC事業の事業基盤を強化しつつ、新規の通信事業に経営資源を投下し、収益事業への育成を加速。
更に、第4の新規事業の探索と育成に取組み、中長期における事業構造改革を推進。

中長期の目指す姿

2024年3月期(FY2023)実績



2029年3月期(FY2028)目標



■ アミューズメント事業 売上 ■ ASIC事業+通信事業 売上

新規事業

- FY2023 4QよりWi-Fi HaLow™ ASSPとモジュールの量産出荷を開始
- FY2024から量産出荷の本格化を目指す

ASIC事業

- 産業・FA分野などの基盤強化
- FY2023実績まで増収増益であり、事業基盤の更なる強化に注力

中長期計画（アミューズメント事業）

顧客密着型の提案活動とサポートを継続し、顧客・関連サプライヤーと良好かつ緊密な関係を維持することで、事業基盤の更なる強化に注力。

事業環境

- 顧客の需要が、短期間で大きく変化する市場

顧客を支えるサプライヤーの役割が重要

- サステナブルな安定供給体制の提供
- 急激な需要変動への柔軟な対応
- 高い品質レベルの維持
- 問題発生時の迅速な対応

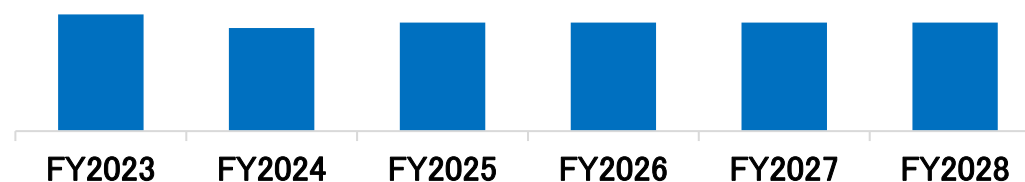
全ての生産を外部に委託するファブレス体制のもとで、顧客に満足頂けるよう供給の能力とサポート力の強化に取り組む

中長期計画（3年～5年後までの取組み）

- 主力事業として引き続き事業基盤を盤石化
 - 顧客・関連サプライヤーとの良好かつ緊密な取引関係を維持
 - 評価や解析力の強化で、より高いレベルの品質を提供
- 次世代ゲーム機ビジネスに向けた製品立上げ
 - 顧客に供給する製品の量産立上
 - 継続的なシェアの獲得

売上高

安定した売上（収益）の継続



中長期計画（ASIC事業）

顧客の課題を解決するソリューション提案力・技術力と、ワンストップの顧客サポート力を強みにASIC事業を展開。

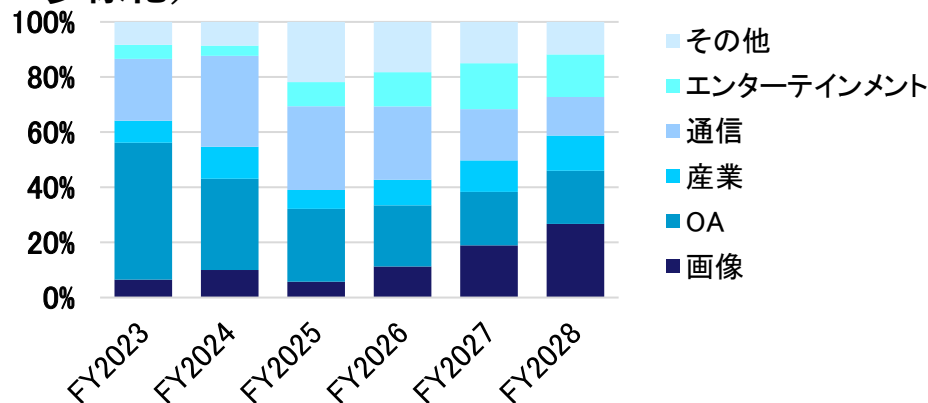
事業環境

- AI技術、IoT技術等の急速な進展により、あらゆる機器へのASIC搭載が進展

ターゲット分野の拡大

- 産業機器分野における自動化、スマート化の進展
- 通信機器、インフラ機器等での半導体需要の拡大

ASIC事業分野拡大への取組み（製品売上構成の多様化）

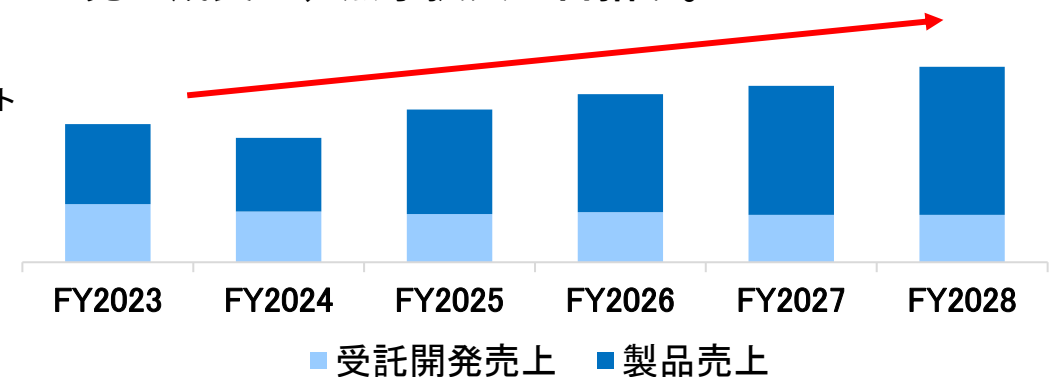


中長期計画（3年～5年後までの取組み）

- 顧客へ提供する付加価値の向上
 - ニーズに合わせた柔軟なソリューション提供
 - 上流設計、アナログ、先進通信技術の強化
 - ワンストップで顧客サポート
 - 設計の効率化によるコスト低減・期間短縮
 - 海外顧客開拓の強化

売上高

売上成長と、黒字拡大を目指す。



中長期計画（通信事業）

Morse Micro社との資本提携及び戦略的パートナーシップにより、通信事業（ASSP製品／モジュール製品の事業）を当社の収益成長に貢献する収益事業に育成。

事業環境

- IoT技術、AI技術の急速な進化により、あらゆる機器がネットワークに接続される。

ターゲット分野の拡大

- スマート工場
- ホーム／オフィス ネットワーク
- 物流／輸送管理
- 遠隔監視等

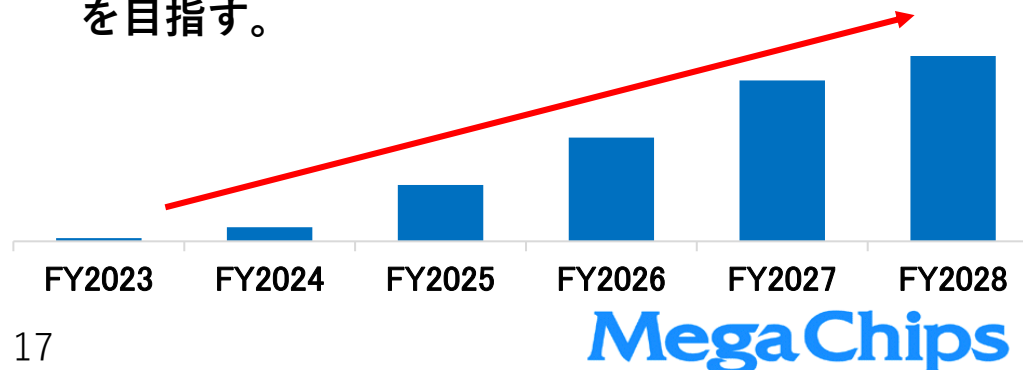
Morse Micro社の無線長距離通信技術（WiFi-HaLow）と当社の有線通信技術を活用し、通信分野での事業立上げと拡大。

中長期計画（3年～5年後までの取組み）

- Morse Micro社との戦略的パートナーシップにより早期の事業立上げを目指す
 - 顧客デザインイン(※1)件数の拡大に集中
 - 海外（北米、アジア）での事業立上げ
 - 2024年度からの本格的な量産出荷
- (※1)当社製品を搭載した顧客機器の開発の実行中

売上高

通信事業の立上げに取組み、早期の事業黒字化を目指す。



利益還元

基本的な利益還元の考え方

配当: 事業成長に基づき安定的に実施
自己株式取得: 資金需要や経営環境などを鑑み機動的に実施

2025年3月期 剰余金の配当(予定)

1株当たり年間 120円
(前期実績から10円の増配予定)

※ 安定配当(増配基調とする)

- ※ 普通配当60円／特別配当60円
- ※ 当配当は現時点の事業環境予測及び事業予想に基づくもの

2024年3月期 株主還元実績

1株当たり年間 110円
自己株式の取得 39.3億円
配当性向 45.6%
総還元性向 132.7%

- ※ 普通配当50円／特別配当60円

基本的なキャッシュアウトの考え

創出したキャッシュは、成長投資と株主還元バランス良く分配し、継続的な成長を目指す

成長投資
戦略投資

株主還元

※成長投資の動向に応じ配分変更有り

IRポリシー

≫基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組めます。

≫情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。

また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

IRポリシー

≫将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス

財務統括部 財務・IR部

ir_inquiry@megachips.co.jp

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル

TEL: 06-6399-2884(代) FAX: 06-6399-2886